

ちかし REPORT

県議会議員「斉藤ちかし」が故郷の明日を考える。

VOL.06
2017.3月発行

活動日誌(2016年)

2月 県議会本会議

第285回定例会
2月24日開会、3月23日閉会

5月 建設委員会県内調査

(東青・下北地区)

5/23(月) 視察

- 青森市・幸畑
東青地域県民局：概況説明
- 青森市・本町
青森港湾環境整備事業(海上)
- 青森市・小柳
県営住宅小柳団地建替事業
- 青森市・宮田
新青森総合運動公園整備事業
- むつ市・中央
下北地域県民局：概況説明



青森港視察



青森港視察

5/24(火) 視察

- むつ市・田名部
国道279号むつ南バイパス
道路改築事業
<(仮称)むつ東通1C工区>
<起点側盛土工区>
- むつ市・大畑町
国道279号二枚橋バイパス
道路改築事業
大畑川総合流域防災事業

6月 県議会本会議

第286回定例会
6月1日開会、6月16日閉会

7月 建設委員会県内外調査

(中南・西北地区・秋田県)

7/26(火) 視察

- 弘前市・蔵主町
中地域県民局：概況説明
- 弘前市・百沢
後長根沢2号火山砂防事業
- 西目屋村・川原平
岩崎西目屋弘前線
災害防除事業
- 西目屋村視察
- 五所川原市・柴町
西北地域県民局：
概況説明

7/27(水) 視察

- 五所川原市・姥范地内
十川広域河川改修事業
- 中泊町・福浦地内
五所川原車力線道路改築事業
<(仮称)第二津軽大橋>
- 繻ヶ沢町・北浮田地内
七里浜港整備事業
- 繻ヶ沢町・舞戸町地内
中村河川改修事業
- 深浦町・追良瀬地内
国道101号追良瀬バイパス
道路改築事業
- 秋田市手形
秋田中央道路通行
- 秋田市・土崎港
秋田港国際コンテナターミナル
施設整備事業
- 北秋田市・根森田
森吉山ダム水源地域ビジョン



土崎港視察



森吉山ダム視察

9月 建設委員会県内調査

(上北・三八地区)

9/6(火) 視察

- 十和田市・西十二番町
上北地域県民局：概況説明
- 三沢市・三川目
三沢海岸高潮対策事業(三沢漁港南側)
- 三沢市・千代田町
中央町金矢線街路事業
- おいらせ町・東下川原地内
明神川地震・高潮対策事業(防潮水門)
- 八戸市・尻内町
三八地域県民局：概況説明



三沢市視察

(右ページへ続く)

(左ページから続き)



おいらせ町視察

9/7(水) 視察

- 南部町・剣吉
名川階上線道路改良事業
- 八戸市・北インター工業団地
八戸環状線道路改良事業
- 八戸市・市川町
五戸川地震・高潮対策事業
- 八戸市・八戸港内港(海上)
白銀、河原木、八太郎地区

9月 県議会本会議

第287回定例会
9月21日開会、10月11日閉会
今回の定例会では、一般質問を致しました。

11月 建設委員会県外調査

(広島県・山口県)

行き 青森空港▷羽田空港▷広島空港

11/8(火) 視察

○広島市・中区・安佐南区

国土交通省
太田川河川事務所
広島豪雨
土砂災害対策



安佐南区視察

11/9(水) 視察

○広島市・南区

広島県土木建築局
広島港の魅力ある
みなのつくり



南区視察

○山口市

山口県
県土木建築部
コンパクトな
まちづくり総合
支援事業



南区視察

11/10(木) 視察

○周南市

周南市都市整備部
周南市立地適正化計画

帰り 山口宇部空港▷羽田空港▷青森空港

県政への質問、働きかけ

平成28年9月議会一般質問 Q & A

ちかしの
POINT!!

救急医療体制の充実にに向けた取り組みについて

9月、ショックな出来事がありました。知人が急に倒れ、意識のない状態になりました。その場で心肺蘇生や人工呼吸などの救命措置を施し、救急要請の連絡や救急車の誘導など可能な限り手を尽くしました。すぐにAED(電気ショックできる機械)を探しましたが、その場には無く救急隊員の方が到着し、AEDを起動させました。そのあとドクターヘリで医師が到着し、懸命な処置で蘇生を試みながら救急車で病院へ搬送されましたが、残念ながら御家族の到着を待つことなくお亡くなりになりました。その中でも、救急隊員、医師の方々の懸命な処置をする姿に感謝いたしますとともに、その仕事のとうさに最大限の敬意を表したいと思います。また、ドクターヘリの迅速な到着に驚くとともに、仮にAEDがその場に配備されており、すぐに使用できたならば命が救われたのではとも考えてまいります。

Q1 ドクターヘリの運航実績及び平成27年度の二機体制による効果についてお問い合わせいたします。
A (健康福祉部長) 一機のみでは対応できなかった事実から二機体制の効果を検証すると、平成27年度は105件で全出動事業の12.6%を占め、期待された効果を発揮していると考えております。

Q2 AED設置等による救命率向上に向けた取り組みとして、県庁舎及び県立学校におけるAEDの使用、心肺蘇生に関する研修の状況についてお問い合わせいたします。
A (総務部長) 県庁舎におけるAEDの設置状況は、南棟正面受付に一台、北棟受付に一台の計二台となっております。機器の使用に当たっては、操作に不備のないよう、受付等に常駐する者にAEDの使用に関する研修を受講させています。

A (教育長) 県立学校におけるAEDの設置状況は、現在100%となっております。全ての学校を対象とした心肺蘇生インストラクター養成実技研修会等を開催し、参加した教員は、知識や技術を全ての教員に伝達することとしております。

Q3 県内の各消防本部が実施している救命講習等の状況についてお問い合わせいたします。
A (危機管理部長) 県内の各消防本部では、住民の応急手当に関する正しい知識と技術の普及を目的として、救命講習やAEDの使用方法を含む救命入門コースを開催しております。

Q4 県内のAED設置状況及び設置場所の周知方法についてお問い合わせいたします。
A (健康福祉部長) AEDの設置情報は、日本救急医療財団が厚生労働省の依頼を受け、設置施設等をホームページで公表しており、青森県内のAED設置状況は、会社、学校、福祉施設など合計で2,427カ所となっております。AEDが必要となったとき設置場所がすぐわかるよう、AEDの設置者に対し、誘導表示の設置などについて広く働きかけております。



ちかしの要望

AEDに関して私も3度ほど研修は受けていますが、なかなかすぐに体が動きませんでした。研修の頻度がその現場に居合わせた時、行動に移せることが大事だと思いますので、AEDそのものの整備はもちろんですが、職員さん、教職員の皆さんに対する講習の機会を少しでも多く持っていたいただければと思います。



ちがしの
POINT!!

りんご産業の振興について



Q りんご産業対策について

りんご産業の振興については、販売課題や産業の構造的な問題、産業の維持など、早急に解決する事が困難と思われる問題を多く抱えていると思います。問題を一つ一つしっかりと認識し、解決策を講じることが今後のりんご産業や地域経済の発展につながるものと認識いたします。そこで、高品質なりんご生産の取り組みについて質問いたします。

Q1 平成28年産りんごの生育状況についてお伺いいたします。

A (農林水産部長)

本年産のりんごの生育は、いずれの品種も開花量が多く、結実も良好で、一部で黒星病の被害がみられたものの、全体としては十分な着果量を確保しております。

Q2 生産農家の高齢化や若年層の就業が低下し、労働力不足が深刻化している中で、高品質のりんごの生産を継続していくため、県では今後どのように取り組んでいくのかお伺いいたします。

A (知事)

青森県果樹農業振興計画において、担い手や補助労働力の育成・確保を生産振興方針の柱に据え、労働力確保に向けた施策を強化していくこととしております。また県内の農家2,000戸を対象に労働力の実態調査を行い、具体的な労働力調整の仕組みづくりを検討していくこととしております。

Q3 他の産業では積極的に受け入れしていると聞き及んでいる外国人技能実習生のりんご産業における受け入れ状況についてお伺いいたします。

A (農林水産部長)

外国人技能実習生の受け入れ制度は国際貢献のため開発途上国等の外国人を最長三年間受け入れて実習を通じて技能等を習得してもらうものです。りんご生産における人数は弘前市にベトナムから十一人、黒石市に中国から四人となっております。受け入れ農家は摘果や袋かけ、つる回し等の着色管理や選果方法などを指導しております。

Q りんごの黒星病対策について

黒星病対策については関係機関や農家はもちろんのこと、りんご産業に携わる全ての団体、個人が一丸となって対策を講じる必要がある事案と確信いたしますので、罹患した果実の流通面から質問させていただきます。

Q1 りんご黒星病及びりんご腐らん病まん延防止条例において、黒星病菌が付着している果実の処理について、どのように規定されているのかお伺いいたします。

A (農林水産部長)

黒星病の被害果の処理については、りんご樹に黒星病及び腐らん病が発生しないように薬剤防除等の適切な措置をとることとし、発生した場合は速やかにその部分を除去することとされています。

Q2 黒星病に罹患した果実の流通について、県の見解をお伺いいたします。

A (農林水産部長)

黒星病に罹患したりんごについては、県内外問わず、生食用として出荷しない旨を申し合わせることをりんご対策協議会に提案し、協議会の総意として了解されたところです。



ちがしの
POINT!!

地域の実情に応じた がん対策の推進について



2008年から2012年の5年間におけるがんの死亡率を全国の二次医療圏別に算出したところ、男性の死亡率は青森圏域がワースト4位、女性につきましても、津軽圏域ワースト5位、下北圏域ワースト8位と、いかに本県が他県に比べてがんによる死亡率が高いかをあらわしているものでした。がん罹患する県民が多ければ多いほど人的、金銭的な社会資本が失われていくとの言葉には深く考えさせられます。

Q1 津軽圏域における男性のがん死亡率が全国最悪との調査結果が発表されましたが、県ではどのように認識しているのかお伺いいたします。

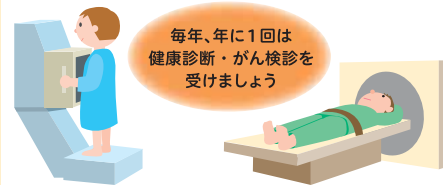
A (知事)

男性は津軽圏域が全国でも高かっただけではなく青森県内の各圏域は総じて全国でも高く、県全域で取り組まなければならないとの思いを強くしました。健康で長生きな青森県を目指し、しっかりとがん対策に取り組むたいと考えております。

Q2 全県的な対応はもちろんですが、地域の実情に応じてがん対策に取り組む必要があると考えますが、県はどのように対応しているのかお伺いいたします。

A (健康福祉部長)

県はがん対策として、喫煙防止対策を初めとした生活習慣の改善、がん検診受診率向上の取り組み、企業、団体等における健康づくりを牽引するリーダーの養成などを行うとともに、市町村に対してはがん検診受診率などを指標として国民健康保険の県特別調整交付金の評価に反映させるなど、取り組みを支援しています。



毎年、年に1回は
健康診断・がん検診を
受けましょう

他にもこのような質問をさせていただきました

9月

第287回 定例会

チェジュ

○済州特別自治道との姉妹提携協定について

○農商工連携による産業振興について

今後の予定

6月 定例会

7月 県政報告会 開催

9月 定例会

11月 定例会

日程未定 県内外視察

2018年2月 定例会

ちがしREPORT VOL.7

2018年3月発行予定となっております

防除層ですが、昨年は暖冬で春が早かった。そして薬をかける前に菌が飛んだということですが、その年々の気候に応じたしっかりとした防除層が必要だと思います。柔軟な体制に見直すべきと考えますが、県の見解をお伺いいたします。

A (農林水産部長)

来年のりんご生産における薬剤散布につきましては、今現在、関係機関と協議しながら薬剤をどれにするかの選択、時期、回数が今のままでいいのか総合的な見直しをしているところです。場合によっては散布時期の前倒しも必要なのではということになります。



指摘されておりました菌の耐性ということですが、りんご研究所の研究項目の中に耐性について明記されております。ですので、黒星病の薬剤に対する耐性についてもしっかりと研究課題を出した上で、薬剤をつくる製薬会社と情報交換を密にして、耐性に対抗していくことが必要かと思いますが、県の見解をお伺いいたします。

A (農林水産部長)

県産業技術センターりんご研究所で主体的にやっていたということが基本になるかと思いますが、黒星病対策というのは、その研究結果をりんご協会とか農協だとかそういった指導機関が生産者に普及指導し、その指導のもとに、適正に生産者が防除を行うという役割分担のもとで進めてきております。これまでも薬剤メーカーといろんな研究成果については連携しておりますので、引き続きよりよい薬剤の選択を進めていきたいと考えております。

ちょっと
待った!



ちがしの再質問



次世代を担う子供たちが、故郷に誇りと愛情を持って暮らせる街にしたい

斉藤ちがし事務所

〒036-1325 青森県弘前市一町田字村元712-4
TEL 0172-82-3202 FAX 0172-82-3103 URL <http://www.chikasi.com/>

Profile
斉藤ちがし

- 昭和45(1970)年生まれ
- 青森県議会・建設委員会副委員長
- 原子力・エネルギー対策特別委員会委員
- 岩木山観光協会会長
- 岩木山商工会理事
- 岩木ソフトボール協会会長
- 青森県ノルディック・ウォーク連盟会長
- NPO法人津軽弁協会理事

MAP

弘前市内

岩木

岩木

岩木

岩木

岩木

岩木

岩木

マックス
パルク
●岩木店様

●岩木店様

●岩木店様

●岩木店様

●岩木店様

～皆様のご意見、ご要望を斉藤ちがしまでお待ちしております～